



教文13丁目笑劇一座1期生

まつうらきょうこ
松浦京子さん



▲旗揚げ公演では事務員役として出演



▲練習風景



▲上田市長も出演



▲稽古の打ち合わせをする松浦さん

「もともと人を笑わせるのが好きで、これだ!と思って入団して、あっという間に1年がたちました。」
前田在住の松浦さんは、昨年5月に教育文化会館が市民喜劇団「教文13丁目笑劇一座」の団員を募集しているのを知って第1期生となり、週に1回稽古に通っています。最初は基本的な発声練習など、学芸会のレベルから始めましたが、放送作家の指導や大阪からプロの芸人を招いて演技指導を受けるという機会にも恵まれて練習を重ねています。

「私は天性の笑わせ役で、笑劇での苦労などないように思われますが、日常の会話で人を笑わせることと、舞台の上で観客を笑わせることの違いを身をもって学びました」と話し、常にスキルアップを目指しています。「プロの指導を生かして演じてみると、観客が泣いたり笑ったりさまざまな表情を見せてくれて達成感を感じることができました。とてもうれしかったです。」

今年3月に、教育文化会館で上田札幌市長も役場職員として友情出演した、教文13丁目笑劇一座の旗揚げ公演「離島の赤髭先生」が行われました。松浦さんの友人も多数かけつけて会場は大きな笑いにつつまれました。次回は9月13日(日)に公演を控えており、練習に励んでいます。最近では笑劇一座の評判が広がり、老人ホームやスーパーのイベントに招かれてコントなども披露しています。

「お客さんの笑い顔を見るのが楽しくてたまりません。今後もたくさんの人を笑わせます」と笑顔で語りました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>
〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目
☎681-2400内線224 FAX681-6639